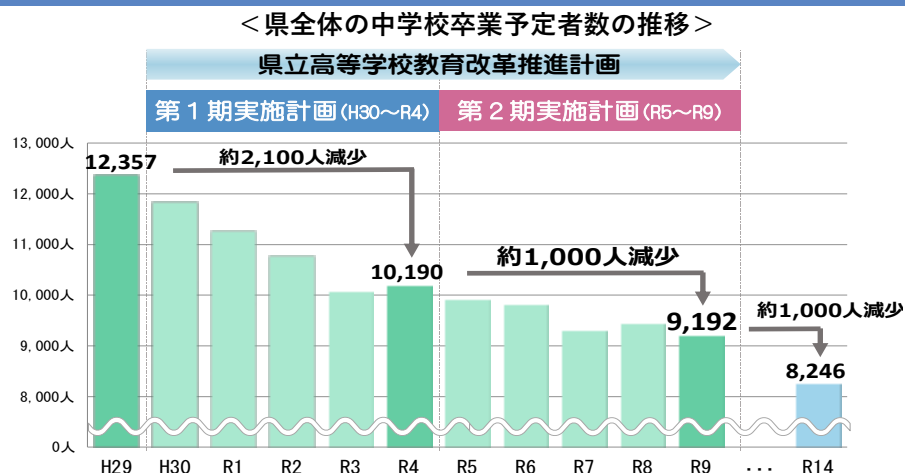


青森県立高等学校教育改革推進計画 第2期実施計画概要

県立高校教育改革の背景

- **社会の急速な変化**
(グローバル化の進展等)
- **高等教育を巡る環境の変化**
(学習指導要領改訂等)
- **進路志望等の多様化**
- **中学校卒業予定者数の減少**
(第2期実施計画期間中に
約1,000人減少)



第1 第2期実施計画策定の経緯(P1～P2)

改定した基本方針を踏まえるとともに、地区意見交換会における意見等を参考とし、令和5年度から9年度までの具体的な内容(学校・学科の充実、学校規模・配置、魅力ある高校づくり)等を示す第2期実施計画を策定

時 期	取組内容
平成28年1月	青森県立高等学校将来構想検討会議答申
平成28年8月	基本方針策定
平成29年7月	第1期実施計画策定
令和2年3月～5月	基本方針検証会議開催
令和2年8月	基本方針改定
令和2年9月 ～令和3年2月	地区意見交換会(県内6地区×3回)開催
令和3年7月	第2期実施計画(案)公表
令和3年7月～10月	地区懇談会、パブリック・コメント実施
令和3年11月	第2期実施計画策定

第2期実施計画策定・推進の考え方

- **充実した教育環境の整備と各地域の実情への配慮**
- 生徒の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための**魅力ある高校づくりの更なる推進**

第2 学校・学科の充実(P3～P15)

1 全ての高校に共通して求められる教育環境(P3～P4)

カリキュラム・マネジメントの適切な実施

＜県教育委員会＞
スクール・ミッション(各校に求められる役割や目指すべき学校像等)の明確化

＜高校＞
スクール・ポリシー(一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な方針)を策定

＜高校＞
教育活動の充実を図る**カリキュラム・マネジメント**を適切に実施

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や未来を切り拓いていくために必要な力を育成
- STEAM教育の視点を取り入れながら、**探究的な学びを重視した教育活動**を展開

社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度の育成

- 小・中学校におけるキャリア教育の成果を受け継ぎながら、**教育活動全体を通じたキャリア教育**を実施
- 地域・企業等と連携したインターンシップや大学等と連携したアカデミック・インターンシップ等を充実

2 全日制課程(P5～P14)

(1) 普通科等の充実(P5～P7)

大学等への進学や就職等、生徒の幅広い進路志望に対応するとともに、様々な分野で活躍できる人財の育成に向け、地域の実情に応じた教育活動・各校の特色を生かした取組を推進

重点校と各校の連携による取組

- 探究活動等の特色ある教育活動の中核的役割を担う重点校を配置し、県全体の普通科等における教育の質を確保・向上
- 重点校が実施する研究会や講習会等への各校の生徒の参加、学習成果の共有に向けた生徒同士の交流等の連携を推進
- 計画・実行・検証・改善を通じた取組の更なる充実と積極的な周知

【重点校の配置】

東青地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三八地区
青森高校	五所川原高校	弘前高校	三本木高校	田名部高校	八戸高校

【重点校における連携のイメージ】



各学科の充実

- 普通科
現代社会を巡る複雑な課題や地域社会の課題等に対応するために必要な資質・能力の育成に向け、各校の実情に応じた探究活動を推進
- 理数科（設置校：五所川原高校）
- スポーツ科学科（設置校：青森北高校、弘前実業高校、八戸西高校）
- 外国語科→グローバル探究科（設置校：青森南高校）

学科 改編

これまでの外国語科の学習内容を発展的に見直しグローバル探究科へ改編

＜グローバル探究科における学び＞

- ・国際的な教育プログラムである国際バカロレアの理念※に基づき、生徒がグローバルに活躍するために必要な語学力や、課題発見・解決能力等を身に付けられる学習を充実
- ・国内外の学校等と協働しながら SDGs の実現等に着眼した探究活動を実施

※国際バカロレアの理念：「多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成」

- 表現科（設置校：八戸東高校）

(2) 職業教育を主とする専門学科の充実(P8～P12)

基礎的・基本的な知識・技能に加え、職業の多様化に対応できる資質・能力を育むとともに、社会の発展に貢献できる人財の育成に向け、地域・企業等と連携・協力した取組を推進

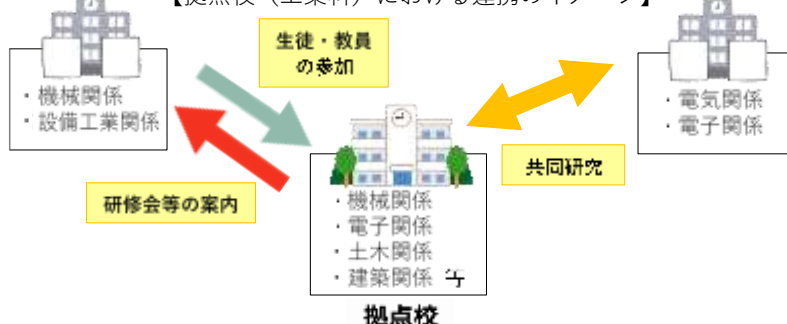
拠点校と各校の連携による取組

- 農業科・工業科・商業科の学習の拠点としての役割を担う拠点校を配置し、県全体の職業教育を主とする専門学科における教育の質を確保・向上
- 拠点校が実施する技術講習会や出前講座、資格取得講習会等への各校の生徒の参加、学習成果の共有に向けた生徒同士の交流等の連携を推進
- 計画・実行・検証・改善を通じた取組の更なる充実と積極的な周知

【拠点校の配置】

農業科	工業科	商業科
五所川原農林高校 三本木農業恵拓高校	青森工業高校 弘前工業高校 八戸工業高校	青森商業高校

【拠点校（工業科）における連携のイメージ】



各学科の充実

- **農業科**（設置校：五所川原農林高校、柏木農業高校、三本木農業恵拓高校、名久井農業高校）

学科 改編	【五所川原農林高校】 森林科学科と環境土木科を統合し環境科学科へ改編 ＜環境科学科における学び＞ 森林の構造・機能・育成、農業土木、環境保全等に関する学習を充実	学校名	R4	R5～R9
		五所川原農林	生物生産	変更なし
			森林科学	環境科学
			環境土木	変更なし
学科 改編	【柏木農業高校】 生活科学科を生物生産科へ統合 ＜生物生産科における学び＞ 農業生産や農業経営等に加え、地域資源の活用に関する学習を充実	柏木農業	食品科学	変更なし
			生物生産	生物生産
			生活科学	変更なし
			環境工学	変更なし
学科 改編			食品科学	変更なし

- **工業科**（設置校：青森工業高校、五所川原工科高校、弘前工業高校、十和田工業高校、むつ工業高校（下北地区統合校）、八戸工業高校）

学科 改編	【むつ工業高校（下北地区統合校）】 電気科と設備・エネルギー科を統合し電気・エネルギー科へ改編 ＜電気・エネルギー科における学び＞ 発電や送電、電気配線工事、エネルギー等に関する学習を充実	学校名	R4	R5～R9
		むつ工業 (下北地区統合校)	機械	変更なし
			電気	電気・エネルギー
			設備・エネルギー	
学科 改編				

- **商業科**（設置校：青森商業高校、黒石高校、弘前実業高校、三沢商業高校、八戸商業高校）
- **水産科**（設置校：八戸水産高校）
- **家庭科**（設置校：弘前実業高校、百石高校）
- **看護科**（設置校：黒石高校）

(3) 総合学科の充実(P13)

自身の個性の発見や自己の在り方・生き方の考察をさせることで、将来を見据えた主体的な系列選択を促すとともに、多様な選択科目の充実を図り、生徒の幅広い進路志望へ対応

- **総合学科**（設置校：青森中央高校、木造高校、七戸高校、大湊高校（下北地区統合校））

(4) 多様な教育制度の充実(P14)

- **併設型中高一貫教育**（導入校：三本木高校・三本木高校附属中学校）
高校と附属中学校の教員の交流による授業改善、6年間を見通した計画的・継続的な教育活動を充実、異年齢交流を通して社会性や豊かな人間性を育成
- **全日制普通科単位制**（導入校：青森東高校、弘前南高校、田名部高校、八戸北高校）
生徒の興味・関心等に応じた幅広い選択科目や学校設定科目を開設、指導体制の工夫・改善による個に応じた指導を充実、大学等の学校外における学修の単位認定を推進
- **総合選択制**（導入校：弘前実業高校）
所属する学科の科目に加え他学科の科目の学習を行うことにより、幅広い知識や柔軟な発想等を育成

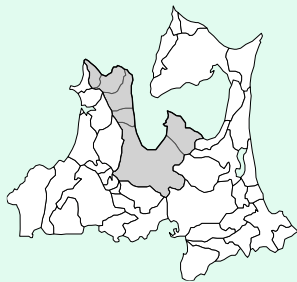
3 定時制課程・通信制課程(P15)

- **定時制課程**（設置校：北斗高校、五所川原高校、尾上総合高校、三沢高校、田名部高校、八戸中央高校）
・ 家庭・地域等と連携しながら生徒一人一人に寄り添った指導や支援を実施
・ スクールライフサポーター等、専門スタッフによるよりきめ細かな支援体制の整備等を推進
- **通信制課程**（設置校：北斗高校、尾上総合高校、八戸中央高校）
・ 生徒の多様なニーズ等に対応するため、ICTを活用した学習・相談体制を構築
・ 後期入学や年度中途からの転入学・編入学の実施を通して、幅広く学びの機会を提供

第3 学校規模・配置(P16～P27)

1 全日制課程(P16～P26)

東青地区



< 中学校卒業生数(見込み) : R4 2,481 人→R9 2,198 人(△283) >
< 募集学級数の期間内増減 (見込み) : △4 学級 >

(単位: 学級)

学校・学科		年度・学級数等	第1期	第2期実施計画		備考
			R4	R5～R9	期間内増減	
青森	普通		6	6		重点校
東青地区統合校	普通		—	6	+6	R9 募集開始
青森西	普通		6	0	△6	R9 募集停止
浪岡	普通		2	0	△2	R10 年度末閉校
青森東	普通		6	6		
青森北	普通		4	4		
	スポーツ科学		1	1		
青森南	普通		4	3	△1	
	グローバル探究		—	1	+1	外国語科をグローバル探究科に改編
	外国語		1	0	△1	
青森中央	総合		5	4	△1	
青森工業	機械		1	1		
	電気		1	1		
	電子		1	1		
	情報技術		1	1		
	建築		1	1		
	都市環境		1	1		
青森商業	商業		4	4		
	情報処理		1	1		
地区計			46	42	△4	

青森西・浪岡
→東青地区統合校

統合年度: 令和9年度
設置場所: 青森西高校の校地
(既存校舎を活用する予定)
学科構成: 普通科6学級

< 統合校の方向性 > ※具体的な取組等については、開設準備委員会において協議

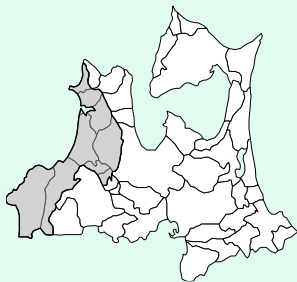
【統合校が目指す姿】

- ・生徒の個性や能力を伸ばし、生徒の幅広い進路志望の実現に寄与する高校
- ・地域と連携・協働した探究的な学びを通して、生徒の地域社会の発展に貢献する意識を醸成する高校

【統合校における教育活動の例】

- ・生徒の学習ニーズに応じたきめ細かな指導や系統的なキャリア教育
- ・地域の歴史・文化に対する理解や愛着を深める教育活動
(浪岡北畠まつりへの参加や笛・ねぶた灯籠づくり等)
- ・地域の魅力を国内外に発信する教育活動や豊かな心、健やかな体等の生きる力を育む部活動
(人づくり・街づくりプロジェクトや空き缶壁画の制作・展示、浪岡地域において築き上げてきたパドミントンの活動等)

西北地区



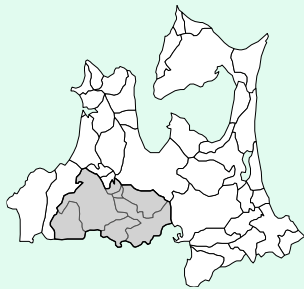
< 中学校卒業生数(見込み) : R4 983 人→R9 827 人(△156) >
< 募集学級数の期間内増減 (見込み) : △2～3 学級 >

(単位: 学級)

学校・学科		年度・学級数等	第1期	第2期実施計画		備考
			R4	R5～R9	期間内増減	
五所川原	普通		4	4		重点校
	理数		1	1		
木造	総合		4	3	△1	
鱒ヶ沢	普通		1	※ 1		地域校
五所川原工科	普通		2	2		
	機械		1	1		
	電子機械		1	1		
	電気		1	1		
五所川原農林	生物生産		1	1		
	環境科学		—	1	+1	拠点校
	森林科学		1	0	△1	森林科学科と環境土木科を統合し、環境科学科に改編
	環境土木		1	0	△1	
	食品科学		1	1		
地区計			19	17	△2	

※地域校の規模・配置については、基本方針に基づき入学状況により対応

中南地区

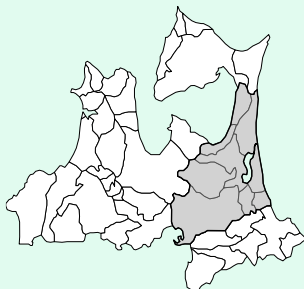


< 中学校卒業生数(見込み) : R4 2,122 人→R9 1,937 人(△185) >
 < 募集学級数の期間内増減 (見込み) : △3 学級 >

(単位: 学級)

学校・学科		年度・学級数等		第 2 期実施計画		備 考
		第 1 期		R 5 ~ R 9	期間内増減	
弘 前	普 通	6		6		重点校
弘前中央	普 通	6		5	△1	
弘前南	普 通	6		5	△1	
黒 石	普 通	3		3		
	情報デザイン	1		1		
	看 護	1		1		
柏木農業	生物生産	1		1		生活科学科を生物生産科に統合
	環境工学	1		1		
	食品科学	1		1		
	生活科学	1		0	△1	
弘前工業	機 械	1		1		拠点校
	電 気	1		1		
	電 子	1		1		
	情報技術	1		1		
	土 木	1		1		
	建 築	1		1		
弘前実業	商 業	2		2		
	情報処理	1		1		
	家庭科学	1		1		
	服飾デザイン	1		1		
	スポーツ科学	1		1		
地区計		39		36	△3	

上北地区



< 中学校卒業生数(見込み) : R4 1,585 人→R9 1,481 人(△104) >
 < 募集学級数の期間内増減 (見込み) : △2~3 学級 >

(単位: 学級)

学校・学科		年度・学級数等		第 2 期実施計画		備 考
		第 1 期		R 5 ~ R 9	期間内増減	
三本木	普 通	6		6		重点校
三 沢	普 通	※ 6		5	△1	
野辺地	普 通	2		1	△1	
七 戸	総 合	3		3		
百 石	普 通	2		2		
	食物調理	1		1		
六ヶ所	普 通	1		※ 1		地域校
三本木農業恵拓	普 通	2		2		拠点校
	植物科学	1		1		
	動物科学	1		1		
	環境工学	1		1		
	食品科学	1		1		
十和田工業	機械・エネルギー	1		1		
	電 気	1		1		
	電 子	1		1		
	建 築	1		1		
三沢商業	商 業	2		2		
	情報処理	1		1		
地区計		34		32	△2	

※三沢高校については、第 1 期実施計画に基づき令和 4 年度に学級減を予定していたが、第 2 期実施計画期間中の中学校卒業生数の増加・減少の幅が大きくなることが見込まれ、これらの変動に対応する必要があることから、第 2 期実施計画期間に学級減を実施

※地域校の規模・配置については、基本方針に基づき入学状況により対応

地域校の規模・配置に係る基準等

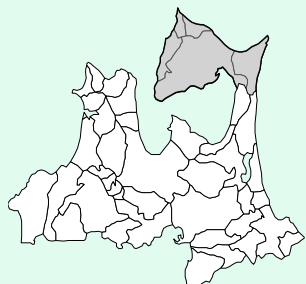
< 2 学級規模の地域校 >

入学者数が 40 人以下の状態が 2 年間継続した場合、原則として翌年度に 1 学級規模として配置

< 1 学級規模の地域校 >

募集人員に対する入学者数の割合が 2 年間継続して 2 分の 1 未満 (20 人未満) となった場合、募集停止等に向け、当該高校の所在する市町村等と協議

下北地区



< 中学校卒業生数(見込み) : R4 **581** 人→R9 **479** 人(△102) >
 < 募集学級数の期間内増減 (見込み) : **△2~3 学級** >

(単位:学級)

学校・学科		年度・学級数等	第1期	第2期実施計画		備 考
			R4	R5~R9	期間内増減	
田名部	普 通		5	5		重点校
下北地区統合校	総 合		—	3	+3	R 9 募集開始
	機 械		—	1	+1	
	電気・エネルギー		—	1	+1	
大 湊	総 合		4	0	△4	R 9 募集停止 R10 年度未閉校
むつ工業	機 械		1	0	△1	
	電 気		1	0	△1	
	設備・エネルギー		1	0	△1	
大 間	普 通		2	※ 2		地域校
地区計			14	12	△2	

※地域校の規模・配置については、基本方針に基づき入学状況により対応

大湊・むつ工業

→下北地区統合校

統合年度:令和9年度

設置場所:むつ工業高校の校地
(校舎を新たに整備予定)

学科構成:総合学科3学級
工業科2学級
(機械/電気・エネルギー)

<統合校の方向性>※具体的な取組等については、開設準備委員会において協議

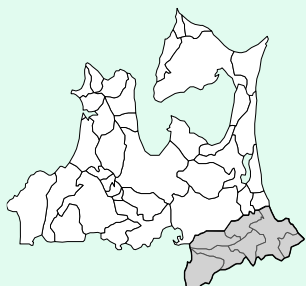
【統合校が目指す姿】

- ・幅広い知識や視野を身に付けさせ、生徒の進路志望を実現する高校
- ・生徒の個性や能力を伸張させ、豊かな社会の実現に寄与する高校
- ・専門的な知識・技術を身に付けさせ、地域産業の発展に貢献する高校

【統合校における教育活動の例】

- ・学科や系列の枠を越えた探究活動や科目履修等、総合学科と工業科の連携による教育活動
- ・多様な選択科目の開設等、生徒の進路意識を高める教育活動
- ・エネルギーや介護福祉等に関する科目の開設等、地域の要請や産業構造を考慮した教育活動
- ・最先端技術の学習、高度な職業資格の取得等、高い専門性を身に付けさせる教育活動

三八地区



< 中学校卒業生数(見込み) : R4 **2,438** 人→R9 **2,270** 人(△168) >
 < 募集学級数の期間内増減 (見込み) : **△2~3 学級** >

(単位:学級)

学校・学科		年度・学級数等	第1期	第2期実施計画		備 考
			R4	R5~R9	期間内増減	
八 戸	普 通		6	6		重点校
八戸東	普 通		5	4	△1	
	表 現		1	1		
八戸北	普 通		6	5	△1	
八戸西	普 通		5	5		地域校
	スポーツ科学		1	1		
三 戸	普 通		1	※ 1		
名久井農業	生物生産		1	1		
	環境システム		1	1		
八戸水産	海洋生産		1	1		
	水産食品		1	1		
	水産工学		1	1		
八戸工業	機 械		1	1		拠点校
	電 気		1	1		
	電 子		1	1		
	土 木		1	1		
	建 築		1	1		
	材料技術		1	1		
八戸商業	商 業		2	2		
	情報処理		1	1		
地区計			39	37	△2	

※地域校の規模・配置については、基本方針に基づき入学状況により対応

地域校の規模・配置に係る対応

- 学校規模の標準を満たさない高校のうち、募集停止等により**高校への通学が困難な地域が新たに生じることとなる高校を地域校として配置**

【地域校の配置】

東青地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三八地区
—	鯉ヶ沢高校	—	六ヶ所高校	大間高校	三戸高校

- 地域校の規模・配置については、基本方針に定める基準等により対応。1学級規模の地域校が基準に該当した場合は、翌年度の募集停止を基本とし、生徒の通学への対応等について当該高校が所在する市町村等と協議

地域校の活性化に向けた対応

- 地域校の活性化に向け、学校関係者と市町村関係者等で構成する**地域校活性化協議会（仮称）**における協議結果等を踏まえ、学校と地域等が一体となって教育環境の充実に資する取組を実施

統合に当たっての留意事項

- 統合の対象となる学校に入学した生徒は、**入学した学校で学び、卒業することを基本**
- 適正な教職員配置に加え、学校行事をはじめとする特別活動や部活動等の生徒の活動の場を確保
- 統合の対象となる学校の関係者等で構成する**開設準備委員会をあらかじめ設置し、統合校の新たな名称、目指す人財像、特色ある教育活動等について協議**
- 開設準備委員会における協議結果を踏まえ、統合校の教育課程の編成等、**開校に向けた具体的な準備を進めるための開設準備室**を統合の対象となる学校内に設置
- 統合の対象となる学校の卒業生に係る卒業証明書等の発行や指導要録、沿革に係る資料の保存や管理等は、統合校が引継ぎ

2 定時制課程・通信制課程(P27)

■ 定時制課程

学級数の増減なし

■ 通信制課程

募集人員の増減なし

第4 魅力ある高校づくり(P28～P31)

1 学校・家庭・地域等との連携の推進(P28～P29)

各校種等との連携の推進

- 生徒の能力・適性や進路志望等の多様化、小規模校における課題に対応するため、教員研修や学校行事等において各校が相互に連携・協力
- 小学校や中学校と連携し、高校の学びに触れる機会の提供や各発達段階に応じた教育活動の充実等の取組を推進
- **国内外の高校や大学等と連携した共同事業体（コンソーシアム）の構築等**による教育活動等に取り組み、生徒の進路志望に応じた高度な学びを提供

家庭・地域等との連携の推進

- 学校・家庭・地域が一体となり、生徒一人一人にこれからの時代に求められる力を育成
- **コミュニティ・スクール**導入校における成果や課題の検証を踏まえ、**他校においても段階的な取組を実施**
- 総合的な探究の時間や学校設定科目等において、地域への理解を深める学習である「**あおもり創造学**」を進め、**生徒の「ふるさとあおもり」への愛着や誇り、夢を抱き未来に向かって挑戦する意欲を醸成**

2 教育活動の充実に向けた取組(P30～P31)

各校に関する情報発信の充実

- 中学生の進路選択等に資するよう各校のホームページを充実
- 様々な広報媒体を活用した**各校の魅力ある教育活動等を発信**

施設・設備の充実

- 老朽化の解消等により**安全・安心な教育環境を確保**
- 特色ある教育活動等の展開に向けた施設・設備を計画的に整備

特別な支援を必要とする生徒等への対応

- 生徒の実情に応じた支援に取り組むため、校内研修の充実や特別支援学校と連携した教員研修等を推進
- 北斗高校、尾上総合高校、八戸中央高校の定時制課程において実施している**通級による指導**の成果を踏まえ、**他校への拡充等を検討**
- 医療・福祉等関係機関との連携や、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等、**専門スタッフによるよりきめ細かな支援体制の整備**等を推進
- 不登校の生徒等に対する支援として、ICTを活用したオンラインによる学習活動等を実施

ICTの活用による教育活動の充実

- 生徒一人一人に情報活用能力を育成するため充実したICT環境を提供
- 学習場面に応じて効果的に**ICTを取り入れた授業づくり**を推進
- ICTの特性を生かした教育活動の展開に向けた実践的な教員研修を充実

全国からの生徒募集の導入

- 県外から目標を持った生徒を受け入れ、近年、入学者数が定員に満たない高校の活性化を進めるため、高校が所在する**市町村の意向等を踏まえながら全国からの生徒募集を導入**
- 各校の魅力化や県外生徒の生活環境に関する**市町村等の支援内容等を考慮しながら、次のとおり導入校を決定**

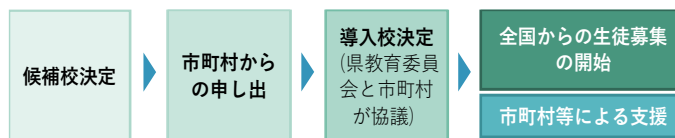
導入校の決定方法

以下のいずれかに該当する高校（候補校）のうち、高校が所在する市町村から支援を前提とする申し出があった高校について、県教育委員会と市町村が協議した上で導入校として決定

- ①第2期実施計画において地域校とする高校
- ②過去5年の定員充足率の平均が90%以下の高校（第2期実施計画における統合対象校を除く）

- **令和5年度入学者選抜からの導入**を基本

【全国からの生徒募集開始までの流れ】



第5 県民の理解と協力の下での県立高校教育改革の推進(P32)

人口減少克服に向けて生徒一人一人に郷土を愛する心を育むため、学校と地域等が一体となり、県全体が丸となって高校生を育てる教育に取り組むとともに、次のような取組を推進

<青森県立高等学校教育改革推進計画の進捗管理>

高校教育を巡る環境の変化や中学校卒業生数の見込み、生徒の志願・入学状況等を確認の上、第2期実施計画の取組状況について検証し、必要に応じて実施計画を見直し

<次期実施計画の策定>

次期実施計画の策定に当たっては、県民の皆様からご意見を伺う機会を設けながら、新たな時代を主体的に切り拓く子どもたちを育むための高校教育の在り方を検討

問い合わせ先

〒030-8540 青森市長島一丁目1-1 青森県教育庁高等学校教育改革推進室

電話 017-734-9866 FAX 017-734-8003

詳しくは、

青森県立高等学校教育改革

検索



ホームページ <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-kaikaku/kenritukoutougakkoukyouikukaikaku.html>

メールアドレス E-KAIKAKU@pref.aomori.lg.jp